

## PRESS RELEASE

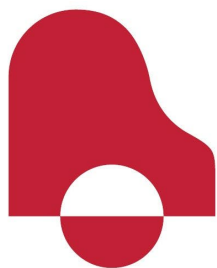
2023.6.15

公益財団法人ソニー音楽財団  
(Sony Music Foundation)

# 「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」第5回（2024年度） 募集を開始

音楽を通じた教育活動に最大 300 万円を助成

公益財団法人ソニー音楽財団（所在地：東京都千代田区、理事長：水野 道訓、英文名称：Sony Music Foundation）は、音楽を通じた教育活動に取り組んでいる団体の活動を助成する「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」の第5回（2024年度）募集を2023年6月15日（木）より開始いたしました。



## ソニー音楽財団 子ども音楽基金

「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」ロゴマーク

「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」は、子どもたちが音楽を通じた体験や活動に触れることで、感動する心を育てることを目的とした助成事業です。地域・環境・経済状況に左右されることなく音楽に触れることのできる社会を目指し、2019年に設立いたしました。これはSDGs（持続可能な開発目標 / Sustainable Development Goals）で掲げられた「2030年までに世界が達成すべき17の目標」のうちの4番目の目標である「質の高い教育をみんなに」にも通じるものです。

当基金では、音楽に触れる機会の少ない地域での子どものための演奏会や、病児・障がい児を対象とした楽器体験、児童養護施設での継続的な音楽療法のほか、ひとり親家庭やさまざまな国籍の子どもたちへの音楽教育等、多種多様な活動を対象に、これまでに延べ81の団体に対して計48,085,143円の助成を行い、多くの子どもたちへ文化的な体験機会を届ける活動を支援してきました。

「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」ウェブサイト：<https://www.smf.or.jp/kok/>

<採択団体の活動例>



採択事例①（岐阜県）  
棕バイオリンクラブ  
「こどものためのバイオリン教室」



採択事例②（島根県）  
松江音楽協会  
「わくわく★音楽体験事業」



採択事例③（東京都）  
ひとさし指のノクターン  
「わくわく！みんなで楽しむコンサート～障がいのある人もない人も一つになって～」

◆水野 道訓（公益財団法人ソニー音楽財団理事長）コメント

「2019年に設立した当基金も第5回を迎えることとなり、これまで多くの採択団体の皆様に助成金を活用いただき、充実した活動を実施していただけたことに御礼申し上げます。子どもたちのおかれる環境がより多様化・複雑化し、子どもを取り巻く社会課題への関心が高まるなか、子どもたちへのきめ細やかな支援や豊かな体験機会の充実が、より一層求められています。そのような活動をサポートすることでよりよい社会の実現に向かうべく、皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。」

当財団は、1984年の設立以来、「Concert for KIDS～0才からのクラシック®～」 「10代のためのプレミアム・コンサート」など、未就学児から青少年までを主な対象としたクラシック・コンサート事業を展開し、2022年には世界最大級のクラシック音楽の祭典「こども音楽フェスティバル」を開催しました。2020年には「ソニー音楽財団 新型コロナウイルス対策特別支援プロジェクト」をスタート。新型コロナウイルスの影響を受けている団体や若手演奏家、そして音楽に触れる機会を失った子どもたちを支援すべくYouTubeチャンネル「こどものためのクラシック」を立ち上げ、楽しくかつ質の高いクラシック音楽動画コンテンツの制作や、お子さまとご家族が気軽にクラシック音楽を楽しめる無料モバイルアプリ「子育てクラシックナビ」の配信等を実施しています。

公益財団法人ソニー音楽財団は、次世代のための教育支援活動および子どもたちの多様な体験機会を提供する取り組みを行い、すべての子どもたちが等しく感性豊かな心を育むことのできる環境づくりに寄与すべく、引き続き活動してまいります。

**【ソニー音楽財団 子ども音楽基金 概要】**

- (1) 名称：ソニー音楽財団 子ども音楽基金
- (2) 設立年月日：2019年5月22日
- (3) 助成の対象：日本国内の、原則として18歳未満の子どもの対象に、音楽\*を通じた教育活動に取り組んでいる国内の団体およびその活動 \*原則としてクラシック音楽およびそれに準ずるもの
- (4) 選考委員（五十音順）※=新任委員：
  - 神原 雅之\* 京都女子大学教授  
元国立音楽大学教授 同大学元副学長
  - 久保山 茂樹\* 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所  
インクルーシブ教育システム推進センター上席総括研究員（兼）センター長
  - 志民 一成 文部科学省初等中等教育局教育課程課、文化庁参事官（芸術文化担当）付 教科調査官  
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官
  - 山野 則子\* 大阪公立大学教授  
スクールソーシャルワーク評価支援研究所 所長
  - 渡辺 元 公益財団法人助成財団センター 理事  
立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 客員教授
- (5) 助成金額：1団体につき10万円から300万円（年度毎）
- (6) 助成対象期間：2024年4月1日（月）～2025年3月31日（月）
- (7) 第5回（2024年度）応募期間：2023年6月15日（木）から7月18日（火）17:00まで
- (8) 応募方法：ウェブサイトより応募書類をダウンロードして応募  
\*募集内容詳細は、ウェブサイトの「募集要項」をご覧ください。
- (9) ウェブサイト：<https://www.smf.or.jp/kok/>
- (10) Facebook：<https://www.facebook.com/Kodomo.Ongaku.Kikin/>
- (11) YouTube：[https://www.youtube.com/channel/UCTupSYEH\\_CAGOSFTi4o4uAA/](https://www.youtube.com/channel/UCTupSYEH_CAGOSFTi4o4uAA/)

**【財団概要】**

名称：公益財団法人ソニー音楽財団(Sony Music Foundation)  
理事長：水野 道訓  
設立：1984年10月2日  
所在地：〒102-8353 東京都千代田区六番町 4-5 SME 六番町ビル  
URL：<https://www.smf.or.jp/>

## 2023年度「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」選考委員プロフィール

(五十音順／＊：新任)

### ■神原 雅之（かんばら・まさゆき）＊

京都女子大学教授

元国立音楽大学教授 同大学元副学長



国立音楽大学教育音楽学科第Ⅱ類卒業、広島大学大学院修了。1978年 Dalcroze School of Music (NewYork)、1998年 Carnegie Mellon University (Pittsburgh)、2001年 Dalcroze Northwest at University of Washington (Seattle) 参加。これまでに広島文教女子大学教授、同大学附属幼稚園園長補佐、広島大学（教育学部）非常勤講師等を経て、  
2004年～ 国立音楽大学教授（2018年3月迄）。  
2007年～ 国立音楽大学副学長(2017年3月迄)。特定非営利活動法人リトミック研究センター理事（現在に至る）  
2018年4月～ 京都女子大学教授、エリザベト音楽大学非常勤講師（現在に至る）  
2020年7月～ 特定非営利活動法人リトミック研究センター会長 等を歴任、現在に至る。

### ■久保山 茂樹（くぼやま・しげき）＊

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

インクルーシブ教育システム推進センター上席総括研究員（兼）センター長



東北大学教育学部卒業、大学院教育学研究科博士後期課程退学。専門は幼児期の特別支援教育、言語・コミュニケーションの障害。臨床発達心理士。論文に「幼児期におけるインクルーシブな教育・保育」「発達遅滞児の歌遊びにおける音声と動作との関連」「発達遅滞児における音声言語行動の成立：歌遊びからのアプローチ」等。

### ■志民 一成（したみ・かずなり）

文部科学省初等中等教育局教育課程課、文化庁参事官（芸術文化担当）付 教科調査官  
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官

愛知県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程（音楽教育）修了。静岡大学教授などを経て、2018年より文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。編著に『音楽を学ぶということーこれから音楽を教える・学ぶ人のためにー』（教育芸術社）など。



### ■山野 則子（やまの・のりこ）\*

大阪公立大学教授  
スクールソーシャルワーク評価支援研究所 所長

文部科学省 第9期中央教育審議会委員（2017年～2019年）、厚生労働省 社会保障審議会児童部会 臨時委員（2017年～）、デジタル庁 こどもに関する各種データの連携に係るガイドライン策定検討委員会 委員（2022年～）、内閣府 子どもの貧困対策に関する有識者会議 構成員（2016年～）他、委員歴多数。

著書に『子どもの貧困調査～子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの』（2019・編著・明石書店）、『学校プラットフォーム～教育、福祉、そして地域の協働で子どもの貧困に立ち向かう』（2018・単著・有斐閣）等。



### ■渡辺 元（わたなべ・げん）

公益財団法人助成財団センター 理事  
立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 客員教授

1976年公益財団法人トヨタ財団へ入職。プログラム・オフィサーを経て、プログラム部長、事務局次長を務める。この間、都留文科大学・非常勤講師、立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科・特任教授を務める。

公益財団法人助成財団センターのプログラム・ディレクター、事務局長を経て、現在は理事（研修・相談事業担当）を務めるほか、立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科・客員教員、特定非営利活動法人市民社会創造ファンド副理事長を兼務。

